

記号・アイコンの説明 (ほ乳類/両生類/は虫類)

大 大きさ 色 体色 食 食べ物 声 鳴き声 見られる時期 春 夏 秋 冬

外来種区分 特 特定外来生物 外 生態系被害防止外来種 般 外来種 (一般)

生息環境区分

貴重種区分

CR	絶滅危惧 IA類	A	最重要保護生物
EN	絶滅危惧 IB類	B	重要保護生物
VU	絶滅危惧 II類	C	要保護生物
NT	準絶滅危惧	D	一般保護生物
DD	情報不足		

環境省レッドデータブック 千葉県レッドデータブック

市街地・公園 畑・草地 樹林地 水田 河川 池沼

タヌキ (イヌ科)

耳が丸く、目のまわりが黒いのが特徴です。複数の個体と同じ場所に糞をするトイレのような場所があり「溜め糞」と呼ばれます。

大 50～60cm 色 こげ茶色
食 雑食性 声 —

春 夏 秋 冬



イタチ (イタチ科)

体が細長く、足が短いのが特徴です。顔は黒く、アゴの下は白色です。水際の砂泥上で足跡がよく見つかるほか、人家周辺にも現れます。

大 16～37cm 色 茶色
食 ネズミやザリガニ 声 —

春 夏 秋 冬



ハクビシン (ジャコウネコ科)

「^{はくびしん}白鼻芯」の名前の由来になっている、顔の中央にある白い線が特徴です。ネコのように体はしなやかで、体と尾が長いのが特徴です。果実が好きで、ミカンやカキなどを食べます。

大 61～66cm 色 こげ茶色
食 果実や昆虫 声 —

春 夏 秋 冬 外



モグラ (モグラ科)

毛はピロード状で汚れが付着しにくくなっています。前足は土を掘るため大きく、爪も長いです。畑地や草地などにつくられたモグラ塚や坑道（トンネル上部が盛り上がった状態）が見つかりやすいです。

大 12～16cm 色 灰褐色～暗褐色
食 ミミズなど 声 —

春 夏 秋 冬



アカネズミ (ネズミ科)

日本の固有種です。夜行性で、地中に巣穴を掘って生活しています。おもに木や草の実などを食べますが、昆虫などを食べることもあります。

大 8～14cm 色 橙褐色
食 木や草の実など 声 —

春 夏 秋 冬



ニホンアマガエル (アマガエル科)

目の所に黒い線が入るのが特徴です。体表の粘液には毒があるといわれていますので、触った後は、手をしっかり洗ってください。

大 3～5.5cm 色 濃い黄緑色
食 昆虫など 声 クワックワッ

春 夏 秋



ニホンアカガエル (アカガエル科)

背中中の左右の黄色い筋が真っ直ぐ平行に通っているところが、特徴です。冬眠しますが、産卵期が1月頃であり、暖かいときは冬でも見られます。

大 3～7.5cm 色 赤褐色
食 昆虫など 声 キョッキョッキョ

春 夏 秋 冬 A



トウキョウダルマガエル (アカガエル科)

体の表面は隆起が少なく比較的滑らかで、鼻先はややとがっています。ずんぐりとした体の特徴で、流れの緩やかな河川や池沼、水田などに生息しています。

大 3.5～8.7cm 色 緑色と黒色のぶち
食 昆虫など 声 ソゲゲゲ

春 夏 秋 NT B



ウシガエル
(アカガエル科)



「食用ガエル」として知られる大型のカエルです。牛のように「ヴォー」と鳴きます。特定外来生物に指定されているため、生かしたまま移動させることは禁止されています。

大 11～18cm 色 緑色と緑灰色
食 昆虫やザリガニなど 声 ヴォー
春夏特 秋   

シュレーゲルアオガエル
(アオガエル科)



春先に、水田の畦^{あぜ}の中に卵を産み、そこから流れ出した白い泡状の卵塊^{らんかた}が、よく見られます。アマガエルに似ていますが、目の所に黒い線がない点で区別できます。

大 3～5.5cm 色 明るい黄緑色
食 昆虫など 声 キリリリリ
春夏 D 秋  

アカハライモリ
(イモリ科)



水田、池、川の淀^{よど}みなど流れのない淡水中に生息しています。体表の粘液にはテトロドトキシンというフグと同じ毒があるといわれていますので、触った後は、手をしっかり洗ってください。

大 10cm 色 黒褐色と赤色
食 昆虫やミミズなど 声 —
春夏 NT A 秋  

ヒガシニホントカゲ
(トカゲ科)



体はすべすべして光沢があります。幼体は尾が鮮やかな青色をしています。日当たりの良い草地や石垣を好み、ニホンカナヘビよりは岩場を好む傾向があります。

大 16～23cm 色 褐色と黒褐色
食 昆虫など 声 —
春夏 B 秋  

ニホンカナヘビ
(カナヘビ科)



体はガサガサしていて光沢がなく、足の指が長い点でヒガシニホントカゲと区別できます。日当たりの良い草地に多く見られます。

大 16～23cm 色 茶色
食 昆虫など 声 —
春夏 D 秋  

アオダイショウ
(ナミヘビ科)



本州では最も大きなヘビですが、無毒でおとなしい性質です。人家周辺でよく見られます。おもに昼間に活動し、夜は休息しています。

大 90～180cm 色 灰緑色
食 小鳥やネズミなど 声 —
春夏 D 秋  

シマヘビ
(ナミヘビ科)



体は薄い褐色で、黒い縦じまが特徴です。無毒でおとなしいヘビですが、個体によっては気の荒いものもあり、牙が鋭くかまれるとかなり痛いので、注意が必要です。

大 80～150cm 色 茶色と黒色のすじ
食 トカゲやカエルなど 声 —
春夏 C 秋   

ヤマカガシ
(ナミヘビ科)



体にある赤、黒、黄色のマダラ模様が特徴です。ヘビとしては、比較のおとなしい性格ですが、首の部分と奥歯に毒を持っているので決して触らないようにしてください。

大 60～120cm 色 赤と黒と黄色
食 カエルや魚など 声 —
春夏 D 秋   

クサガメ
(イシガメ科)



中国原産の外来種ですが、以前は在来種と考えられていました。ほかのイシガメ科のカメと雑種を作りやすく、遺伝子汚染を起こすことが問題になっています。

大 20～25cm 色 黒色
食 雑食性 声 —
春夏 般 秋  

ミシシippアカミミガメ
(ヌマガメ科)



子ガメは「ミドリガメ」と呼ばれペットとして販売されています。北～中央アメリカ原産で、耳の部分が赤くなるのが特徴です。「日本の侵略的外来種ワースト100」に選定されています。

大 28cm 色 茶色
食 雑食性 声 —
春夏 外 秋  